

I 令和4年度事業計画書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

当財団は、NPO活動やボランティア活動、生涯学習をはじめとする県民の諸活動の支援、高齢者の生きがいづくりや地域参加の促進及び就業機会の提供に関する事業を通じて、あらゆる世代が共に支え合う豊かな埼玉の発展に寄与するという社会的使命を有している。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛や人との接触削減による県民活動の減少や事業活動の停滞による就業機会の縮小など、地域社会に多大な影響が生じている。財団ではポストコロナに向けて各事業に取り組んでいく。

県民活動の支援に関する事業では、NPO活動や市民活動を支援するため、NPOの運営や活動に必要な知識を学ぶ各種講座を実施するほか、仕事や生涯学習の成果として培った知識や技能を地域に還元するボランティア講師の養成に取り組み、県民活動の活性化を図る。

県民活動団体への支援として、彩の国市民活動サポートセンター（愛称：たまサポ）を運営し、NPO・ボランティア活動に関する相談対応・情報提供の実施や市町の市民活動サポートセンターの支援などを行う。また、県内NPO法人の実態調査としてNPOを訪問し、活動状況や課題を把握することにより支援の充実につなげていく。その結果については、県と連携してNPOと協働を希望する企業等とのマッチングにも活用していく。

県民活動総合センターでは、引き続き利用者が安心して利用できるよう感染防止対策を徹底するとともに、コロナ禍で減少した利用者数を回復させるため営業活動の強化に取り組む。また、施設予約や利用料金の決済がオンラインでできるようシステムを改修することにより、施設の利便性の向上を図り利用につなげていく。

高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業では、高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営する。埼玉未来大学には、「ライフデザイン科」と「地域創造科」の2科を設置し、高齢者の多様なニーズに応えていく。また、たまサポと連携してNPO等の地域活動団体とのマッチングなどを実施し、卒業後の地域デビューを支援する。

就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業では、多様な就業機会の確保やシルバー人材センターの入会促進により、働くことを通じた高齢者の生きがいの創出を支援する。また、就労支援の拠点であるシルバー人材センターの運営基盤を強化するため、国庫補助金の交付を行うとともに、専門家による相談体制

の整備や職員研修等を実施する。さらに広報については、新たにプロポーザル方式による外注化を進め、会員の獲得や就業機会の拡大に向けた普及啓発を効果的に行う。

I - 1 事業の概要

1 県民活動の支援に関する事業

(1) 県民活動支援のための講座開催

ア NPO活動などを支援する講座

NPOの運営や共助の取組などを学ぶ講座や、新たにオンラインでNPO運営の基礎を学べる講座を実施する。

イ ボランティア講師を養成する講座

仕事や生涯学習の成果として培った知識や技能を地域に還元するボランティア講師を養成するための講座等を実施する。

ウ いきいき生活講座

教養を深め、生活を豊かにする講座を実施する。

(2) 県民活動団体への支援

ア 彩の国市民活動サポートセンターの運営

NPO活動や市民活動に関する相談対応・情報提供を行うとともに、「埼玉市民活動サポートセンターネットワーク」事務局として、市町の市民活動サポートセンター職員を対象に研修会を実施する。また、新たに市民活動コーディネーターを設置するほか、NPOの企業等とのマッチングを支援する。

イ 情報センターの運営

県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施する。

ウ 県民活動団体支援事業

NPO法人などと協働で事業を実施し、団体の活動が一層活発なものになるよう支援する。

エ 次世代育成支援事業

子育て支援を行う団体と連携し、地域の子育て力を高める講座を実施する。

オ 彩の国いきいきフェスティバルの開催

県民活動団体の活動成果の発表の場、世代を超えた交流の場を提供するとともに、NPO・ボランティア活動に関する講演会を開催する。

カ NPO法人実態調査

コロナ禍を踏まえ県内NPO法人の活動状況を調査し、ニーズや課題等を把握することにより、NPO法人の効果的な支援につなげる。

(3) 埼玉県県民活動総合センターの運営

利用者が安心して利用できるよう引き続き感染症対策を徹底するとともに、宿泊を伴う運動施設の利用など施設の利用促進に向けた営業活動の強化、施設予約システムの改修による施設予約や利用料金の決済のオンライン化など施設の利便性向上を図り、コロナ禍で減少した利用者の回復に努める。

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

(1) 埼玉未来大学の運営

高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、埼玉未来大学を運営する。

ア ライフデザイン科

元気で自立したシニアライフを送るために必要な知識の学習やセカンドステージでの新たな活躍の場を見つけるための支援をする。

体を動かしながら体力・脳力を向上させるなどシニアの健康長寿の実現を図る。また、地域の課題等を学ぶことで、シニアの社会参加を促進する。期間は6か月の前・後期2期制とし、各5学園を開講する。

イ 地域創造科

地域課題の解決に必要な地域の担い手を育成するため、NPOの立ち上げなど社会貢献を目指す「アクティブコース」及び社会的起業を目指すビジネス専門の「地域ビジネスコース」を開講する。

また、選択講座として4講座を開講する。

ウ 卒業後の活躍支援

地域活動を行う卒業生の活動報告会により地域活動への関心を高める。

また、地域デビュー支援として、彩の国市民活動サポートセンターとの連携による地域活動団体とのマッチングなどを行う。

(2) 高齢者生きがい支援事業の実施

ア いきいき創作展の開催

絵画や写真、書など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場として、いきいき創作展を開催する。

なお、優秀作品は、翌年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）の美術部門に出品する。

イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣

高齢者の国体と呼ばれる第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）神奈川県・横浜・川崎・相模原大会に埼玉県選手団を派遣する。

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

(1) 就業機会の提供

ア 就業開拓事業

人手不足分野及び一般事務職の就業先の開拓を進めるため、新たに就業開拓員を設置する。また、複数のシルバー人材センターが共同で受注する市町村域を越えた広域的な就業の調整を行い、就業機会の拡大につなげる。

イ 福祉・家事援助サービス推進事業

福祉家事援助サービスに従事するコーディネーターや会員の養成・育成を図る。

ウ 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

シルバー派遣事業を適正に運営するため、派遣実施事務所との運営会議や実務者研修、派遣会員への研修等を開催し、情報の共有化と法令等の理解を高め、職員の資質向上を図る。

エ 有料職業紹介事業

各事務所において実施する有料職業紹介事業の適正な運営を推進する。

オ 高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者・企業の関心を喚起するため、シルバー人材センターに関する積極的な周知・広報を行う。また、就業体験や技能講習を行うことで、シニアの就業意欲を高めるとともに、企業ニーズに合った人材を養成し、シルバー人材センターの会員拡大、新規就業を促進する。

(2) シルバー人材センターの支援

ア 活動拠点の支援等

県内のシルバー人材センターに対し、シルバー人材センター事業を展開・拡充するための助言や国庫補助金の交付を行う。

イ シルバー人材センターの役職員に対する研修

役職員の資質向上のための新任役職員研修や階層別職員研修等や、高齢会員等の健康を保持するためのフレイル予防に関する研修を行う。

ウ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談

シルバー人材センター事業を円滑かつ適正に実施するため、専任の相談員や社会保険労務士等による巡回相談、弁護士等による相談体制を整備する。

エ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発

新たに広報のプロポーザル方式による外注化を進め、効果的な広報により主に女性を対象とした入会を促進する。また、シルバー人材センターの就労を「いきがい就労」としてイメージ向上を図ることにより、就業機会の拡大につなげる。加えて、埼玉未来大学と連携し、講義の中でシルバー人材センターの紹介を行い、入会を促進する。

オ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催

事故防止、コンプライアンスの徹底を図るため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施する。

カ シルバー人材センター運営資金貸付事業

運営資金に余裕のないセンターに対し、国や市町の補助金が納入されるまでの間、資金の短期貸し付けを行う。

令和4年度 実施事業一覧

※回数等及び人数等はいずれも目標値

1 県民活動の支援に関する事業

実施事業	回数等	人数等
(1) 県民活動支援のための講座		
<p>ア NPO活動などを支援する講座 NPOの運営や共助の取組などを学ぶ講座や、オンラインでNPOの運営の基礎を学べる講座等を実施する。</p> <p>▽NPO基礎講座 ▽シニア共助担い手マッチング事業 ▽ボランティア・NPOインターンシップ事業</p> <p>新 ▽NPO短編動画配信事業</p>	22回	860人
<p>イ ボランティア講師を養成する講座 ボランティア講師を養成し、資質の向上を図るための講座等を実施する。</p> <p>▽まなびあい講師塾（入門編） ▽まなびあい講師塾（実践編） ▽まなびあいセミナー ▽スキルアップセミナー ▽まなびあい講師活動支援事業</p>	28回	1,320人
<p>ウ いきいき生活講座 文化教養、趣味に関する講座を実施する。</p> <p>▽文化・教養講座 ▽生活・趣味講座 ▽現代的課題講座 ▽地域探訪講座</p>	19回	1,010人
(2) 県民活動団体への支援		
<p>ア 彩の国市民活動サポートセンターの運営 NPO活動、市民活動に関する相談、情報提供等を実施するとともに、県内市町の市民活動サポートセンター関係者を対象に、情報・意見交換、研修会を実施する。</p> <p>▽NPO・ボランティア相談コーナーの運営 ▽NPO税務会計等相談会 ▽埼玉市民活動サポートセンターネットワークの運営</p> <p>新 ▽市民活動コーディネーターの設置 新 ▽NPOと企業とのマッチング支援</p>	通年	—
<p>イ 情報センターの運営 県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施する。</p>	通年	—
<p>ウ 県民活動団体支援事業 活動団体と協働で事業を実施するなど、活動団体の活性化を支援する。</p> <p>▽県民活動団体協働事業 ▽登録団体支援事業</p>	6回	180人
<p>エ 次世代育成支援事業 子育て支援団体と連携し、地域の子育て力を高める講座等を開催する。</p> <p>▽地域子育て支援事業</p>	5回	150人
<p>オ 彩の国いきいきフェスティバルの開催 県民活動団体の活動成果の発表の場、世代を超えた交流の場を提供するとともに、NPO・ボランティア活動に関する講演会を開催し、動画で配信するなど、県民活動の一層の活性化を図る。</p>	1回	4,500人
<p>新 カ NPO法人実態調査 コロナ禍を踏まえ県内NPO法人の活動状況を調査し、ニーズや課題等を把握するとともに、NPO法人の活動状況を発信する。</p>	通年	—

<p>(3) 埼玉県県民活動総合センターの運営 感染症対策を徹底するとともに、施設の利便性や魅力の向上を図り、コロナ禍により減少した利用者の回復に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▽保育サービスの運営 ▽広報紙「けんかつ」の発行 ▽ホームページ、SNSの運営 ▽地元自治体、公的団体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> 彩の国いきいきフェスティバル(再掲) けんかつサマーフェスティバル 大学連携講座 けんかつグリーンスクール(おさらい教室) けんかつレンタサイクル 	<p>通年</p> <p>通年 12回 通年 通年 1回 1回 2回 通年 通年</p>	<p>419,000人</p> <p>— 各12,500部 — —</p>
<p>(4) 附帯サービス事業【収益事業】</p> <p>ア 飲食等提供事業 利用者サービスの向上のため、飲食等の提供を行う。 ▽県民活動総合センター内での食堂・売店・自動販売機の運営</p> <p>イ 駐車場の管理運営 利用者サービス向上のため、駐車場の運営を行う。 ▽県民活動総合センターの駐車場の管理運営</p> <p>ウ キャリアアップ支援講座開催 専門的知識やスキルを習得し、キャリアアップに役立つ講座を実施する。 ▽資格取得支援講座</p> <p>エ 埼玉の魅力発信コーナー及びコピーコーナーの運営 埼玉にゆかりのある企画展示や県産品の紹介・販売を行い地域の魅力を発信する。 各種資料づくりに役立つコピー機、印刷機、製本機、紙折機等を設置する。 ▽埼玉の魅力発信コーナー ▽コピーコーナー運営事業</p> <p>オ その他、利用者の便宜を図るためのサービス</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>1回</p> <p>通年</p> <p>通年</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>20人</p> <p>—</p> <p>—</p>

2 高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	回数等	人数等
<p>(1) 埼玉未来大学の運営 高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成する「埼玉未来大学」を運営する。</p> <p>ア ライフデザイン科 健康長寿の実現と社会参加の促進を図ることを目的に、高齢者のニーズに沿ったカリキュラムやシニアの社会参加意識の醸成を図る。 ▽前期課程【4～9月】5学園（春日部・川越・川口・熊谷・伊奈） ▽後期課程【10～3月】5学園（春日部・川越・川口・熊谷・伊奈）</p> <p>イ 地域創造科 社会デビューに直結する高度で専門的なカリキュラムにより、地域の担い手を育成する。 ▽アクティブコース ▽地域ビジネスコース ▽選択講座（地域観光ボランティア養成講座、子どもの居場所づくり講座、コミュニティカフェ開設講座、地域の場づくり・居場所づくり創業講座）</p> <p>ウ 卒業後の活躍支援 地域活動を行う卒業生の活動報告会や彩の国市民活動サポートセンターによる地域とのマッチングを実施する。</p>	<p>10学園</p> <p>2コース 4講座</p> <p>通年</p>	<p>980人</p> <p>225人</p> <p>—</p>
<p>(2) 高齢者生きがい支援事業</p> <p>ア いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供する。</p> <p>イ 全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 第34回全国健康福祉祭（ねんりんピック）神奈川・横浜・川崎・相模原大会に埼玉県選手団を派遣する。</p>	<p>4日間</p> <p>4日間</p>	<p>—</p> <p>136人</p>

3 就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

実施事業	回数等	人数等
<p>(1)就業機会の提供</p> <p>ア 就業開拓事業 就業開拓員を設置し、人手不足分野及び一般事務職の開拓を進めるとともに、市町村域を超える広域的な就業の調整を進める。 新 ▽就業開拓員の設置 ▽広域的就業調整</p> <p>イ 福祉・家事援助サービス推進事業 本事業に従事するコーディネーターや会員の養成や育成を図る。 ▽福祉・家事援助サービス講習</p> <p>ウ 労働者派遣事業(シルバー派遣事業) 各事務所において実施するシルバー派遣事業の適正な運営を推進する。 ▽運営会議 ▽実務者研修 ▽会員研修 ▽派遣システム研修 ▽衛生管理者試験対策研修 ▽産業医の設置</p> <p>エ 有料職業紹介事業 各事務所において実施する有料職業紹介事業の適正な運営を推進する。</p> <p>オ 高齢者活躍人材確保育成事業 シルバー人材センターに関する広報や就業体験を行う。 ▽広報紙やメディア等による周知・広報 ▽清掃や障子張り替え等の就業体験 ▽保育や介護等の技能講習</p>	<p>通年</p> <p>通年 通年</p> <p>1回</p> <p>通年</p> <p>2回 5回 8回 2回 1回 通年</p> <p>通年</p> <p>通年 60回 14回</p>	<p>—</p> <p>— — —</p> <p>—</p> <p>— — — — — —</p> <p>—</p> <p>— — —</p>
<p>(2)シルバー人材センターの支援</p> <p>ア 活動拠点の支援等 ▽シルバー人材センター事業に関する情報提供や助言 ▽国庫補助金(連合交付金)の交付</p> <p>イ シルバー人材センターの役職員に対する研修 法人運営やシルバー人材センター業務に関する知識、企画力の向上を図るため必要な研修を行う。 ▽基本研修、専門研修 ▽フレイル予防研修</p> <p>ウ 団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談 シルバー人材センターへの巡回や専門家による相談体制を整備する。 ▽巡回相談 ▽弁護士相談、会計相談、社会保険労務士相談、税理士巡回相談、シルバー派遣事業相談 相談員による個別相談窓口の設置 新 ▽公認会計士による会計監査 新 ▽連合事業推進計画(5か年)の策定</p> <p>エ 会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発 新たな広報手法により、シルバー人材センター会員募集やシルバー人材センターのイメージ向上を図る。 新 ▽女性をターゲットとした入会促進 新 ▽いきがい就労の概念の定着によるイメージの向上 ▽普及啓発月間 ▽埼玉未来大学学生への入会促進 ▽広報紙やメディア等による周知・広報(再掲)</p> <p>オ 安全・適正就業会議、研修、大会の開催 事故防止、コンプライアンスの徹底を図るため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施する。 ▽安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修、安全就業推進大会 ▽安全指導</p> <p>カ シルバー人材センター運営資金貸付事業 国や市町の補助金が納入されるまでの間、資金の短期間の貸し付けを行う。</p>	<p>通年 58団体</p> <p>9回 9回</p> <p>20回 通年</p> <p>18回 3月</p> <p>通年 通年 10月 通年 通年</p> <p>3回 3回</p> <p>23団体</p>	<p>— 807,874千円</p> <p>—</p> <p>— —</p> <p>— — — —</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>146,000千円</p>